

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津商業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月6日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 中津商業高等学校会議室
- 4 参加者
- | | | |
|--------|-------|------------------|
| 会長 | 成瀬 博明 | 本校同窓会会長 (欠席) |
| 副会長 | 保母 龍興 | 本校同窓会副会長 (欠席) |
| 委員 | 児玉 光弘 | 地域住民代表、学識経験者 |
| | 李 瑾 | 中京学院大学准教授 |
| | 平岡 淳 | 中津川市立第一中学校校長 |
| | 有我友香理 | 中津川市定住推進部市民協働課主任 |
| | 鈴木 真弓 | 中津川市商工振興課主任主査 |
| | 久木 利道 | トーキン工業(株)相談役(欠席) |
| | 名城 仁志 | 本校PTA会長 |
| | 野田賢太郎 | 本校PTA役員 |
| オブザーバー | 原 祐一 | 本校元校長 |
| | 森 益基 | 岐阜県議会議員(欠席) |
| 学校側 | 丸山 裕 | 校長 |
| | 丹羽 静 | 教頭 |
| | 松村 勇一 | 事務長 |
| | 兼松 美穂 | 教務主任 |
| | 熊谷 秀太 | 生徒指導部長(代理) |
| | 坂本 美和 | 進路指導部長 |
| | 若尾 昌彦 | 商業教育部長 |
| | 勝野日菜子 | 記録 |

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校評価アンケート結果について
各分掌より、分析と対応の説明
- (2) スクールミッションについて

6 各委員からの意見

- 意見 1: アンケートでC~Eをなぜつけたのか、理由を記入する項目はあるのか。
⇒理由を記入する項目は無い。任意で理由を記入する欄を設けてよいか確認する。
- 意見 2: 生徒に理由を聞くのがよい。理由が分からない状態で教職員が分析をしないといけないのはかなり負担になる。任意で理由が記入できるようになればよい。

- 意見 3： いじめに関しての個別での相談は実際にあるのか。
⇒いじめに関するアンケート結果から心身の不調があった場合の生徒の面談は必ず行っている。そのアンケートから行う面談も月に数人程実施しており、場合によってはスクールカウンセラーの協力を得ている。
⇒長期欠席者(1週間休みが続いている生徒)などにも、担任が声を掛けカウンセリングを進めている。教育相談週間では二者懇談を行うなど、生徒に対してのカウンセリングを積極的に取組んでいる。
⇒コロナ明けから生徒の欠席者が非常に多くなった。一日で10人以上欠席することもある。
- 意見 4： 中学校でも同様に心身の不調を訴え欠席する生徒が増えている。その中で本校の教育相談の取組は非常に大事である。
- 意見 5： ホームページにスクールポリシーを載せれるとよい。
⇒ホームページに掲載しているが、生徒の目につきやすいよう工夫していく。
- 意見 6： 「いじめや差別を許さず、厳格に対応している。」という質問の回答A、B合わせた割合が、生徒では82.4%であるのに対し、保護者では60.1%と差があるのはなぜか。
⇒A～Eの評価の中で、C、Dは評価がよくないという項目だが、Eは「わからない」という項目のため、それを選ぶと数値に反映し、A+Bの評価の数値が低くなる。
- 意見 7： 外部との連携について、生徒68.1%に対して保護者は73.6%という数値。この差はなぜなのか。
⇒商品開発などで携わる外部関係者は、本校に頻繁に来校するため、外部という認識になっていない可能性がある。保護者の数値が高いのは、地域のイベントなどで販売実習を行っている姿を頻繁に見るためと考えられる。
- 意見 8： 会計コースの出前授業を実際に中学校で行っているため、この体験を通して、進路意識が芽生えた生徒が増えた。今後も中学校との連携を続けてほしい。
- 意見 9： ビジネス情報科の発表で、ワークライフバランスに視点を当てている所が非常によい。
- 意見10： 本校の生徒が自分の目で企業を見て取材をし、それを更に中高生に周知する事で、企業側もこうした取組をしていかないといけないと思うようになった。
- 以下スクールミッションについてのご意見
- 意見11： 本校の特色が分かるような文言を入れるとよい。
- 意見12： 長い文章だと分かりにくい。
- 意見13： 「起業家精神」と「専門職業人」という言葉が入っていると、意味がつかまらない。

7 会議のまとめ

学校評価アンケートの結果を踏まえ、各分掌から分析とその対応について説明した。学校評価アンケートについては、C(あてはまらない)、D(まったくあてはまらない)と回答した場合、その理由を任意で入力できるようなアンケートフォームにできないか協議していく。

スクールミッションについて、もっとわかりやすく、短めの文章にしたほうがよいという指摘があり、改めて作成し「第3回学校運営協議会」に提示する。